

注目ポイント！

- 筑紫次郎(筑後川)の水源地域、「水郷日田」にふさわしいまちづくり。
- 元禄・江戸時代からの天領日田の町並みを保存・復元し、今に伝える。

観光入込客数が約210万人から約260万人に！
(平成元年) (平成16年)



筑後川(三隈川)で開催される「川開き観光祭」花火大会の様子

コラム

昭和51年、古い建物や町並みを活用した個性的な商店街づくりを目指した。当時、住民は近代的な商店街への憧れが強く、説得するには相当のパワーが必要だった。それを視覚で訴えたのが「天領まつり」。昔ながらの大名行列が古い町並みの中を練り歩く。

歴史の深い日田には祭りが多い。人々は祭りに参加し、その中から地域の愛情や誇を育んでいる。



(社)日田市観光協会
石丸 邦夫氏

これまでの経緯

- | | |
|-------------|---|
| 昭和54年(1979) | 「天領まつり」が創設される。 |
| 昭和58年(1983) | 豆田地区の「町並み保存地区協議会」が発足する。 |
| 昭和59年(1984) | 草野本家(大分県指定有形文化財)でひなまつりを一般公開する。 |
| 昭和62年(1987) | 「日田の街並」が手づくり郷土賞を受賞する。 |
| 平成3年(1991) | 日田市で景観に関するマスタープランとなる「日田市景観ガイドプラン」を策定する。 |
| 平成4年(1992) | 豆田地区を「都市景観形成地区」に指定する。(日田市都市景観条例) |
| 平成10年(1998) | 豆田地区の電線地中化が開始される。 |
| 平成13年(2001) | 「日田市豆田地区」が美しいまちなみ大賞を受賞する。 |
| 平成16年(2004) | 豆田地区が重要伝統的建造物群保存地区に選定される。 |
| 平成17年(2005) | 豆田地区の主催によるイベント「千年あかり」が創設される。
「親水施設 台霧の瀬」が手づくり郷土賞を受賞する。 |

千年あかり



「千年あかり」

地域で組織する実行委員会が主催、「天領まつり」の夜のイベントとして開始。2万本もの竹灯籠で幻想的な空間を演出。

使用する竹は、地域住民や環境団体のボランティアが森林の健全育成のため伐採・利用したもの。地域の連携・環境保全にも貢献。



竹切り作業



川の楽校(台霧の瀬)

「水郷日田(すいきょうひた)」の川づくり

「水郷日田」のシンボルは、筑後川(三隈川)。川開き観光祭やリバーフェスタなど多くのイベントを開催。

市民が積極的に川づくりに参加し、特に市民団体の手づくりによる「台霧の瀬」は、「川の楽校」など子供たちの歓声が響く新たな場所。

豆田の町並みとボランティアガイド

豆田地区は、伝統的町並みを色濃く残し、電線地中化により、古い景観を再現。観光協会によるボランティアガイドで天領日田の城下町についての案内が行われ、多くの観光客が来訪。

豆田地区の町並みとガイド



「おひなまつり」発祥の地

旧家の雛道具を公開した「天領日田・おひなまつり」は、一戸の旧家から始まった。

現在では、十数か所の旧家が2月から3月に一般公開、伝統的建造物群と一体化した観光資源に。

ひなまつり公開風景



問い合わせ先

- 日田市 土木建築部 都市整備課
Tel : 0973 - 23 - 3111 (代表) <http://www.city.hita.oita.jp/>
- 日田市観光協会
Tel : 0973 - 22 - 2036 <http://www.oidehita.com/>